

第114号
夏休み特集

藤枝明誠ニュース

FUJIEDA MEISEI News

発行 学校法人 藤枝学園 藤枝明誠中学校・高等学校 渉外課広報担当 / Tel 054-635-8155 / Fax 054-635-8494 / Email meisei@fgmeisei.ed.jp / URL https://www.fgmeisei.ed.jp

第105回全国高等学校野球選手権記念静岡大会

激闘! 明誠の熱い夏!!



7月27日	準決勝 <草薙球場>	藤枝明誠 6-7 浜松開誠館 (優勝)
25日	準々決勝 <草薙球場>	藤枝明誠 5-2 加藤学園
23日	4回戦 <清水庵原球場>	藤枝明誠 12-1 御殿場南
20日	3回戦 <草薙球場>	藤枝明誠 4-2 沼津東
16日	2回戦 <焼津球場>	藤枝明誠 7-0 誠恵



甲子園に懸けた思い



野球部主将
31 HR 徳味 蒼太
(愛知県岡崎市立英作北出身)

私たち野球部は7月に行われた全国高校野球選手権記念静岡大会でベスト4という結果に終わりました。私たちは昨夏に新チームを結成しました。静岡県で優勝し甲子園で勝つという目標を掲げて日々練習に励んできました。その目標をこの夏の大会で達成するために、技術はもちろん人としての力を磨いてきました。そしてそれを自分たち自身の基準でやるのではなく、甲子園で戦える技術、精神力、甲子園に出場するにふさわしい人間力を身につけるため「甲子園基準」で取り組んできました。すべては甲子園のためにと、いろいろな犠牲を払ってきました。また応援してくださる方々の期待に応えるためにも練習に取り組んできました。夏の大会での結果は準決勝敗退という結果に終わってしまい甲子園に行くことができませんでしたが、ここまでの道のりは決して無駄ではなく人として大きく成長できました。最後に、暑い中藤枝明誠高校野球部を応援してくださり、ありがとうございました。

全力応援



応援委員会委員長
24 HR 増田 倅来
(藤枝市立青島中出身)

夏の高校野球静岡大会でのベスト4入り、おめでとうございます。炎天下の中、声援が響くプレッシャーに負けず試合に臨む姿、とても遅かったです。敗色が濃くなったとしても、諦めずに戦い、状況を覆す明誠の頑強さを思い知らされました。私たち応援委員会はコロナが収束し、マスクも制限もない本来の応援をしました。太鼓の叩き方が甘かったことや一般生徒と連携が取れていなかったことなど、不慣れな点はありませんでしたが、吹奏楽部やチャリ

ディング部携わって下さった先生方全員と団結し、最大限の応援ができました。ここまで勝ち上がり、共に戦うことができ、嬉しく思います。私は今年で応援団長を務めて2年目になります。去年は失敗を恐れ、強い緊張を抱いていました。が、全校朝礼や大会での活動を重なることに、人前でも堂々と行動することができるようになりました。今回の大会を通し、改めて自分を認めることができました。貴重な体験をありがとうございました。

挑戦と努力の舞台



チャリディング部
キャプテン
39 HR 片山 光姫
(藤枝明誠中出身)

「声が夏を響くする」本当にその通りだと実感する野球応援をさせて頂きました。ベンチ内外関係なく、勝利のために常に前だけを見据える野球部の視線がとても輝いて見えました。チャリディングは人を応援することから始まったスポーツです。私たちもみんな皆さんに劣る事がないよう「自分自身の姿をもって声から負けない応援」を目標に練習、応援活動に励んでました。

準々決勝での逆転勝利、準決勝での8回の逆転は今年も鮮明に残っています。どんな状況でも部員全員が一心となって声を掛け合い戦う姿に感銘を受けました。多くの方々と一緒に応援することができた今年の夏の時間は、私にとって、かけがえない宝物です。来年の夏も皆さんと一丸となり、スタンドから選手の皆さんの力になることのできる声を届けられるよう常に感謝と笑顔を忘れずに活動していきます。

野球部の皆さん、最高の夏を本当にありがとうございました。

真夏の応援曲



吹奏楽部
23 HR 川本 浩佑
(藤枝市立青島北中出身)

吹奏楽部は、初戦から最後の準決勝まで野球応援に参加させていただきました。私は、野球部との情報共有を大切に、曲順やコールのタイミングなど細かい部分まで確認するようにしました。また、昼休みの応援練習に参加したり、試合前にチャリディング部、応援委員会と共にリハーサルをおこなったりして、一つの団体としての応援するため、準備を整えていきました。

試合当日、私たちは全力で応援しました。しかし、最初はスムーズに指示が通らなかったり、誤った指示を出したりと上手くいきないうちが、試合が進むにつれて、応援が上手にできるようになっていった結果、準決勝ではミスのない応援ができました。また、チャリディング部、応援委員会、野球部だけでなく、一般生徒や一般のお客様も一緒に熱気にあふれた応援を作り上げることができたと思います。

来年の夏も選手の方々のプレーを支えられるような応援ができるよう、努力していきたいと思えます。

夏休みの経験から自分の成長を確信する

海外短期留学、ボランティア活動やオープンキャンパス参加などの体験を発表

海外留学

ホバート市での生活



英数科英数コース
18 HR 増田 真歩 (焼津市立港中出身)

私は、7月28日から8月3日までの1週間、オーストラリアのホバート市へ留学しました。焼津市と姉妹都市であるホバート市での生活はとても刺激的なものでした。

ホストファミリーとの仲が深まってきた頃、私はホストシスターのソフィーと一緒に学校に通いました。しかし、現地の学校生活は私が知るものとは大きく異なっていました。まず驚いたのは、「おやつ」の時間があることです。1限目の授業が終わると、生徒たちは冬にもかかわらず外へ飛び出していき、床に座りながらお菓子を食べます。その時、みんなでリンゴを丸かじりしたことが強く印象に残っています。また、生徒たちが驚くほどフレンドリーでした。現地では珍しい日本人を前にしても緊張したり、遠慮したりせず、どの子も話しかけてくれました。そのおかげで沢山の友達をつくることができました。このように、ホストファミリーはもう一人、現地の人たちと交流できたことがとても良い経験になったと感じています。いつかまた、ホバート市を訪れ、焼津市との友好関係を深めることに貢献したいと思っています。今もソフィーとの連絡が続いていることに感謝し、いつか再会を果たしたいです。



海外留学

恐れずに挑戦する



英数科英数コース
210 HR 大澤 蒼 (藤枝明誠中出身)

私は御前崎市の主催する海外研修で、8月16日〜22日までカナダのバンクーバーに行きました。この研修に参加を決めた理由は、英語を実用的に使う機会を作りたいからでした。私は将来、英語を活用する職業を目指しているため、スピーキング・リスニング能力の向上が必須となります。自己実現のためにもこの研修を通じて、英語力の向上を目指しました。

話のスピードについていけないという事が度々ありました。思うように気持ちが伝えられないことがとても不安で、強い孤独感に襲われました。しかし、このままではいけないと思い、単語や文法の些細なミスを恐れず、がむしゃらに会話をすることを心がけました。すると、少しずつですが自分の意見が相手に伝わるようになり、相手からも色々な話題を聞き出せるようになりました。現地の方からお勧めの観光地やおいしい食べ物や聞き、そこに向かう目的を果たすことができた経験は、大きな達成感につながりました。

今回の研修を通じて、将来のためにも更なる英語力の向上が必要なることを痛感しました。しかし、それ以上に大きな学びとなった事は、小さなミスも恐れず積極的に挑戦することが目的達成には必要であり、ひいてはそれが自己成長につながるという事です。この学びをこれからの学校生活に活かしていきます。



ボランティア

ボランティアでの経験



英数科英数コース
27 HR 小川 菜実 (藤枝市立藤枝中出身)

私は8月1日からの4日間、ふじっこ児童クラブという、藤枝小学校内の児童館で行われたボランティア活動に参加しました。

このボランティアの主な活動内容は、児童館で預かっている小学生の子どもたちと遊んだり、施設の指導員さんの手伝いをしたりすることです。初めての2日はほぼ全体を見ることばかりで、特定の子どもと遊ぶことができなかったのですが、活動に慣れていくうちに他の子への声かけや、指導員さんのお手伝いをするタイミングなどが分かるようになり、自分から積極的に行動できるようになりました。

4日間という短い期間の中でも、喧嘩をする子、泣いてしまう子がいる等様々な出来事があり、毎日みんなを見守り、多くのトラブルに対応している指導員さんの姿を改めて実感しました。

ボランティア

ボランティアを通して学んだこと



普通科理数コース
35 HR 石原 愛夏 (吉田立吉田中出身)

私は8月1日〜4日の4日間、すみれ保育園においてサマーショートボランティアに参加しました。今回ボランティアに参加した理由は、自らの成長につながると思っていたからです。将来、私は食品関係の仕事に就きたいと考えています。保育園や幼稚園の中には園内で給食の献立を考え、作ることもあると聞き、そのような環境にも興味をもったため今回の参加を決めました。

ボランティア活動の内容は、子どもたちと一緒に遊ぶことや園児が使用する教材の作成などでした。子どもと接する時は、視線を子どもに合わせたりやさしい言葉を使うことを心がけました。また、どんな子にも積極的に話すようにしました。子どもたちの中には、折り紙を折って私にプレゼントしてくれたり、沢山質問してくれたりする子がいて、とても嬉しかったです。活動に参加する中で、挨拶や分からない時に質問することの大切さを実感しました。挨拶はするのでも、されるのも気持ちの良いものでしたし、指示内容が理解できなかった時は必ず聞いて確認を取る、ということがいかに大切かということもよく分かりました。

普段、年齢の離れた子どもたちと触れ合う機会は中々ないため、今回のボランティアに参加したことで様々な経験をすることができました。サマーショートボランティアへの参加は今回が初めてでした。4日間という短い期間の中で大変だったこともありましたが、今は楽しかったという気持ちが一番強く残っています。この経験を活かし、今後も広い視野を持ち、相手のことを考えることを大切にしていきたいです。

オープンキャンパス

受験生としての夏休み



普通科総合コース
33 HR 渡辺 修都 (伊東市立南中出身)

高校生最後の夏休みでは、受験生として大学受験に向けての準備と、英検合格のための準備に力を入れました。

私は、夏休みに入るまで志望する大学が決まっていなかった。しかし、夏休みに多くの大学のオープンキャンパスに参加したことで、志望校を東京農業大学に決めることができました。オープンキャンパスでは、事前の小論文を書くという事前課題が課されていました。この課題で扱われていた内容は今まで全く勉強しなかつた分野であったため、大変な面もありました。

私の受験方式では、事前の小論文を書くという事前課題が課されていました。この課題で扱われていた内容は今まで全く勉強しなかつた分野であったため、大変な面もありました。高校生活最後の夏休みは、大学受験の準備、英検の勉強など、充実した時間にすることができました。

オープンキャンパス

進路と向き合った夏



英数科英数コース
38 HR 本杉 光 (牧之原市立権原中出身)

私はこの夏休みにオープンキャンパスに参加しました。周りを見ると、自分の将来について真剣に考え、悩んでいるのは自分だけではないと感じました。

実際に大学に行ってみると、大学の雰囲気や周辺の街並み、施設など大学のホームページやパンフレットでは分からなかったことを肌で感じる事ができました。キャンパスは新しく綺麗で、大学の周辺は自然豊かな街で静かだったため学習環境に優れていると思いました。また、模擬授業は非常に魅力的でした。まだ何も分からない私たちに

が強まりました。しかし今のままでは、まだこの思いを達成することが困難です。そのため夏休みは学校や図書館を利用して勉強に取り組みました。私は長時間同じことをやり続けることが苦手です。そのため1日のスケジュールを決めて、時間を管理しながら勉強しました。

このように自分が学習に集中できる最適な環境や方法を見つけて出し、1ヶ月間取り組んだ結果、今回の共通テスト模試では物理が前回と比べ大きく伸びることができました。

この先もまた大きな壁にぶつかることがあると思いますが、この自信と絶対に行くという気持ちで残り約半年間は学習を継続し、志望の大学に行くという目標を達成させたいです。

高校1年生が学校生活を語る！

4月に入学して早半年が経ちました。さて、高校1年生は何を感じ、何を学んだのでしょうか。

飛躍



普通科
11HR 紅林 佑太 牧之原市立相良中出身

私たちが入学してから半年が経ちました。在籍するクラスは雰囲気良く、楽しく学校生活を送ることができています。高校生活を送る中で、まず生活面では、規則正しい生活を意識し、いつ誰に対しても挨拶をすることや、常に周りを気配りをすることを実践してきました。学習面では、部活動で忙しい中、時間を有効に活用し、自主学習をおこなってきたことで、定期テストでは自分の目標としていた点数をとることができました。部活動ではサッカー部に所属し、毎日の掃除、挨拶、ボランティア活動などを通して、人として成長することができています。

長していきたいです。そのため、自主練習ではただボールを蹴るのではなく、試合だと想定して30%で取り組むこと、マーカーを置くなど練習メニューを工夫することなどを実践していきたいです。また、日頃から支えてもらっている先生、家族、先輩、仲間に対する感謝を忘れず全力で努力していきます。

私は現在、力を入れていることが2つあります。1つ目は生徒会活動です。これから高校生になったら新しいことに挑戦したいと考えて、生徒会に所属することを決めました。これまで青藍祭で装飾をつくったり、球技大会でスムーズに進行できるようにサポートしたりしました。現在は、体育大会に向けての準備に注力しています。少しずつ自分たちの仕事が増えてきているので責任をもって活動していきたいです。私は普段の生活で目立つことが苦手なため、これからも周囲をサポートすることで学校行事

夢のために



英数科英数コース
17HR 松下 美月 藤枝市立青島中出身

藤枝明誠に入学して半年が経ちました。高校生になり、数学などの授業が中学と比べて格段に難しくなっています。そのため、家庭学習などを通して成績を維持できるように、毎日がんばっています。

私が明誠高校に入学してから、はや半年が経ちました。現状、私はこの学校生活に満足しています。共通の趣味を持つ友達と夏休みを楽しんだり、定期テストに向けて共に勉強に励んだりしました。第1回の定期テストでは、今の勉強法でこのくらいの結果を出せるのか手探りの中で挑みましたが、満足のいく結果だったため気持ちが浮ついてしまいました。この気持ちが残り、2回目の定期テストでは力を出し切れなかったため、この反省を活かすべく復習に励みました。失敗から学ぶことは多く、この失敗を否定的に捉えていません。伸びしろを考え、今後も勉強に励んでいきます。

日々の成長



英数科英数コース
18HR 向山 諒 藤枝市立高洲中出身

2年生のうちに取得したいと考えています。そのために、その日に受けた授業の単語や熟語、問題の復習をしています。語彙力がまだまだ身につけていないため、毎日地道に覚えていくことを心がけています。また、読書などをして学ぶ機会を増やしています。心理学の勉強については、隙間時間を有効活用し、普段の学習と上手に両立できるように工夫していきます。



緊張した面持ちの入学式



御殿場でおこなわれた研修中のフィールドワーク



研修の最終日には家族へ手紙を書いた



青藍祭のステージ発表でクラスの団結を深めた

今、私が特に力を入れていることは、この部活動です。日々の練習に全力で取り組み、先輩との差を縮めるために人一倍努力して成長

今後の目標は、大学進学に向けて毎日の授業を大切にこなしていくことです。これからの定期テストでは高い点数を維持できるように取り組み方を工夫し、進路を選択していくうえで土台になる学力を身につけていきたいです。サッカー部での活動を通して、技術だけでなく人としても更に成長し、大人になった時に社会で必要とされる人間に成長していきたいと思っています。

私は将来、静岡県立大学に進学したいと考えています。そのために、1年生のうちから英検2級に合格しました。また、全ての教科を満遍なく勉強し、高得点が取れるような計画を立てていきたいです。

3年間の明誠高校生活を満喫するために、何事も全力で楽しみます。

目標は三者三様ですが、私が目標として掲げているのは、静岡県立大学の薬学部への進学と資格の取得です。特に資格に関しては、英検2級と心理学検定1級、どちらも

基礎固めが大切です。定期テストや模試で出題される応用問題にも対応できるように実力を、「今、ここで」定着させなければいけません。目標達成まで前向きな気持ちで取り組んでいきたいです。また、これからの授業は難しくなっていますが、挫折しないよう日々の学習や復習をおこない、努力をしていきたいです。

東京英語研修



今までにない経験

英数科国際教養コース
26HR 山本 陽生 (藤枝市立葉梨中出身)

私たち26HRは、英語を学ぶため東京グローバルゲートウェイという施設で8月3日に終日研修をおこないました。

そこには、まるで海外にいるような感覚に陥る空間が広がっていました。海外での日常生活を想定した数多くの様々なエリアがあり、それぞれ場面設定がなされていました。今回私たちが体験したのは、キャンパスゾーンにあるスクールオフィス、ブックストア、カフェなど学生生活をイメージしたエリアでした。また、各エリアにはミッションが設定されており、そのミッションをクリアすることが目的でした。例えばスクールオフィスでは、キャンパス内のアルバイトに関する質問や希望のシフトを伝えること、ブックストアでは返品や注文取り消しの交渉をすることなどがミッションとして設定されていました。さらに、3つのグループに分かれ、各グ

ループについてのガイドと交流する場面もありました。午後には講師による講義もありました。取り入れられたアクティビティでの協力を通して、ガイドとの距離も縮めることができました。

この研修を経て、私は改めて世界の広さに驚きました。将来世界へ羽ばたきたいと考えている私にとって、更に英語の学習に力を入れようという決意する後押しにもなりました。また、沢山のミッションをクリアしようとグループ内の仲間と協力したことで、チームワークの大切さも実感できました。

来年は受験の年となり、この研修に再び参加することはできません。たった1回の経験となってしまうかもしれませんが、この経験は将来必ず何かの役に立つと思います。

今回の貴重な体験を忘れず、今後活かしていきたいと思っています。



日常生活のあらゆる場面を想定



さらに意欲の高まる研修となった

イングリッシュ・サマー・キャンプ



サマーキャンプの体験

英数科国際教養コース
16HR 西尾 結乃 (掛川市立桜が丘中出身)

私たち16HRは8月3日から8月5日までイングリッシュサマーキャンプに行きました。3人の外国人講師の方と2泊3日を過ごして感じたこと、キャンプでの思い出を紹介します。1日目ではカヌーや夜のパーティーなど、アクティビティがメインでした。カヌーではどのグループも大きな声でかけ声をしていたり、海の風がとても気持ち良かったりと、笑顔あふれる体験になりました。夜におこなわれたパーティーでは、文化祭で踊ったジャンボリ天国を披露したり、明誠の先生方も含めておこなった伝言ゲームをしたりなどして、より講師の方とコミュニケーションを深めることができました。

2日目から最終日に行われるグループ発表に向けて3クラスに分かれた授業が行わ

れました。飢餓やSDGsについてなど、世界情勢について詳しく学習しました。読み方が分からない単語があるときには、全体で声に出して発音を確認したり、発表の時に使う原稿を講師の方が確認したりして下さいました。そのおかげでよりスムーズにネイティブな英語でスピーチすることができました。そして、一緒にご飯を食べるときや廊下ですれ違い様に挨拶するときなどに使う日常会話も身に付きました。普段の授業では学習するだけでしたが、実際に応用しながらキャンプを楽しむことができました。

キャンプで実際に外国人と触れ合いながら学んだことは本当に多くありました。この経験を活かして日頃の学習に取り組んでいきたいと思っています。



力を合わせてカヌーを前に進めた



世界情勢に真摯に向き合う

第47回全国高等学校総合文化祭 将棋部門 2023かごしま総文

令和5年8月3日～4日、将棋界初の永世七冠誕生の地となった鹿児島県で各都道府県を代表する高校生が、日本一の栄冠を目指して対局しました。男子団体で出場した藤枝明誠はベスト16の成績を残しました。



英数科英数コース
310 HR 鈴木 元輝 (藤枝明誠中出身)

最高の舞台、最高の仲間

鹿児島県指宿市で8月3日、4日に開催された第47回全国高等学校総合文化祭将棋部門に参加しました。最終的にチームはベスト16で敗退し、残念ながら2日目に残ることはできなかつたものの、全国大会という大舞台を経験し、高校生活最後の夏を充実したものにすることができました。全国大会はまず3勝で通過、2敗で失格となる予選リーグをおこない、通過したチームがベスト16として決勝トーナメントを戦うという形式でした。2連勝で迎えた3戦目は序盤から苦しい展開となり1敗も覚悟していましたが、粘り強く指

し続けて逆転勝ちに持ち込むことができました。予選突破をかけた戦いで力を発揮できたことが、全国大会での最高の思い出になりました。決勝トーナメントでは有利な局面を作ったものの勝ちきれず、目標のベスト8にはあと一歩届きませんでした。自分のミスで終わらせてしまった悔しさもありますが、全力を出し切ったという達成感も同時に得ることができました。全国出場、そしてベスト16という結果は、このメンバーで戦ったからこそ残せたものです。後輩たちが再び大きな舞台で躍動することを願っています。

令和5年度 全国高等学校総合体育大会 バasketボール競技大会 飛び立て若き翼 北海道総体2023

今季公式戦無敗だった藤枝明誠がインターハイ準々決勝で悔しい初黒星を喫し、東山高の試合は89-79で惜しくもベスト8で敗退となりました。



普通科理数コース
34 HR 赤間 賢人 (福岡県直方市立植木中出身)

Redeem 冬奪冠

私たちバスケットボール部は、7月25日から30日におこなわれたインターハイに出場し、ベスト8という結果でした。インターハイでは、今年のチーム目標である「日本一」を成し遂げるために、チーム全員で戦い抜きましたが、満足はいきません。インターハイでは自分たちのやるべきことを徹底することと考える必要があります。インターハイでは自分たちのやるべきことを徹底することと考える必要があります。インターハイでは自分たちのやるべきことを徹底することと考える必要があります。

目標につながると思っています。また、私たちは藤枝明誠高校バスケットボール部に関わる全ての方々に希望と感動を届けるため、日常生活から応援されるようなチームになれるよう、意識して行動していきます。今後は、インターハイの出場権を獲得し、一戦一戦全力で戦い抜いて「日本一」を成し遂げます。今後にも応援のほど、宜しくお願いします。



令和5年8月20日に千葉ポートアリーナで開催! USA Japan チアリーディング&ダンス学生選手権大会2023 EAST 高校編成 Show Cheer部門 Novice 第2位



普通科理数コース
35 HR 福島 愛心 (三島市立山中出身)

青リボンへの挑戦

私たちチアリーディング部は先日行われたUSA Japan チアリーディング&ダンス学生選手権大会2023 EASTに出場し、2位を獲得しました。新入生の成長に、他のメンバーが刺激を受けお互いに切磋琢磨しながら自分たちの目標である「青リボン」に向かって日々努力してきました。今年のチームコンセプトは「STOP DREAMING」にしました。これは今年2月に出場した世界大会での反省から生まれました。私たちメンバーにとって入賞や優勝は夢の場所

ではなく目指すべき場所と意識する必要があると、お互いを信じ望んだ本番。1つ落ちがあったものの、全員が全力を出し切りました。結果は、トータルスコア92.6点。減点を含めたグランドトータルスコア91.1点。惜しくも0.9点わずか赤リボンという結果に終わりました。それでも昨年の同大会からスコアを4.0点伸ばし、初めての90.0点台となりました。あと一歩、悔しい結果にはなりましたが、チームにとってとてもいい経験になりました。応援ありがとうございます。この経験を活かし、更なる成長を目指して頑張りますので、今後とも温かい応援やご支援宜しくお願いします。

第75回国民体育大会 燃ゆる感動 かがしま国体 10月7日～17日

障害馬術競技

馬術とは

英数科英数コース
29HR 川村 颯太 (牧之原市立様原中出身)

馬術といっても千差万別なので、今回は私が出場する障害飛越競技をご紹介します。この競技は陸上というハードル走で、高さや幅、色彩や形状などの障害物をミスなく飛び越していく競技です。コースはデザイナーがその都度考えるため、まったく同じコースになることはありません。順位の決め方は減点法で、1落下-4点、規定タイムオーバーで1秒につき-1点です。人馬一体となり飛び越す姿はとても雄大で美しいので、ぜひ一度、ご覧下さい。



チーム・ライフル少年女子立射60発競技

初めての大会

英数科英数コース
110HR 夏目 凛 (藤枝明誠中出身)

私は、8月19日に開催された特別国民体育大会東海地区予選会ライフル射撃競技会のチーム・ライフル少年女子立射60発競技に出場しました。県外での大会が初めてなうえ、競技中トラブルがありました。平常心を保ち、自己最高点を出すことができました。また私は他県の代表選手たちに遠く及びませぬ。しかし、先輩方に教えて頂いたことを活かせるように、大会までに練習を重ね、かがしま国体特別国民体育大会でよりよい成績を残せるよう頑張ります。



私は夏休み中におこなわれた、静岡県中学校テニス連盟テニス大会で、シングルス2位、ダブルス3位という成績を収めることができました。今回の大会は、シングルス、ダブルス共にベスト4以上という目標を掲げての挑戦でした。シー

第19回静岡県中学校テニス連盟テニス大会 準優勝

あきらめない気持ち

英数科理数コース
J22 HR 大塚 心捺 (吉田町立中央小出身)

ドというプレッシャーもありましたが、ベスト4以上という目標を無事に達成することができました。とても嬉しいです。日々の部活動の練習において、私は技術を向上させるということよりも、基礎を定着させることを大切に

静岡県私学バレーボール選手権 ベスト8

新チームでの夏

普通科理数コース
25 HR 塚崎 友翔 (焼津市立大村中出身)

私たちは男子バレーボール部は、3年生が引退してから初めての夏を迎えました。この大会は2日間かけて行われ、1日目はリーグ戦、2日目はトーナメント戦でした。1日目をグループ2位で終え、2日目のトーナメント1回戦目はエースの塚崎が建て直

2023 SBSカップ国際ユースサッカー静岡ユースに選出

この大会を通して

普通科総合コース
32 HR 遠野 翔一 (藤枝市立西森中出身)

私は静岡県で開催された、SBS国際ユースカップに静岡県代表のメンバーとして出場しました。この大会では関東大学選抜U-18日本代表U-18韓国代表と対戦し、試合や活動を通して多くの学びを得ることができました。中でも特に強く印象に残っているのが、サッカーに対する意

